

# トンネル内部の粉じん・メタンガス濃度を図化して経時変化を確認 【新たな使い方】

No.	35	分野	トンネル	プロセス		施工	
目的	変化の把握 (トンネル内のガス濃度の変化を把握)			撮影・可視化対象事項	濃度 (有害ガスの濃度を把握)		
技術要素	(詳細不明)			活用効果	安全、環境		

## ■背景および技術用途

- 坑内作業員の労働環境の常時改善や管理作業の効率化
- トンネル坑内をリアルタイムモニタリングし、粉じん濃度、坑内風速、坑内温度、メタン等の有害ガス、坑外へ漏出する浮遊粒子状物質など、坑内環境の管理として必要な項目を任意に設定して可視化することが可能

## ■技術詳細

- 坑内環境の状況は、現場事務所や本支店およびシステムメーカーでモニタリング可能なため、情報を共有できる
- 粉じん・メタンガス濃度を可視化・グラフ化して経時変化を確認し、常に基準値内に収まるように換気設備類を自動制御



図 一元管理PCの操作状況

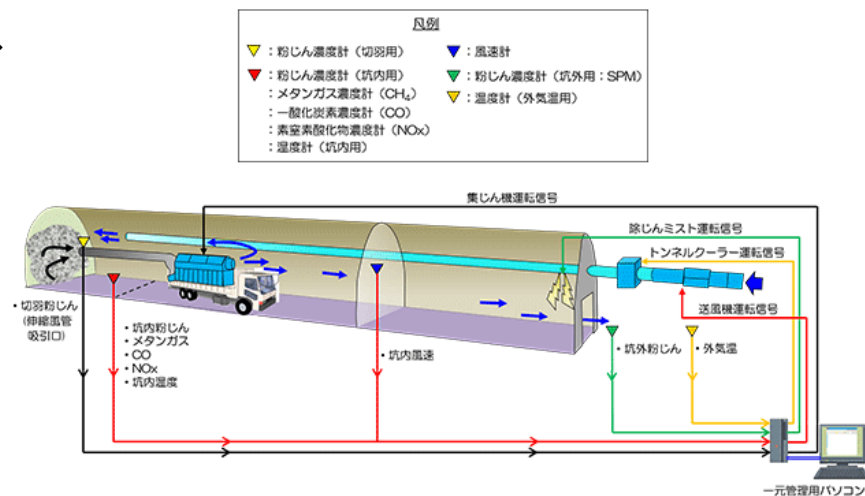


図 システムの全体図